

## 第1号議案

### 令和5年度事業報告及び財務諸表の承認について

#### I. 令和5年度事業報告

本会は、昭和52年に発足以来、県下JA関係職員の退職金原資を預かり「安全・確実」な運用に努めてきた。税務上、掛金が損金になるというメリットも理解され、現在、県下JA関係職員の退職金の概ね4割強を賄うようになった。

令和5年度の資金量は平残で約284億円であり、運用利回りは前年度を0.01ポイント上回る0.636%、運用益は180百万円であった。これに対して、退職給付金の還元利率は前年度と同率の0.500%、還元利息は132百万円を付加した。

共済会への掛金が全額法人税の損金になること、共済会の運用益が非課税であるため比較的高い還元利率を付加することができること等の共済会の利点を強調し、さらに掛金の増口に努めていく必要がある。

令和5年度の具体的実施事業は、以下のとおりである。

#### 1. 会員・加入者の状況

加入団体は、JA9、連合会4、専門農協・子会社等13の合計26団体だった。

令和5年10月現在の加入者等の状況は、次のとおりである。

・加入者数	6,132人	(前年度	6,412人	△280人)
・加入総口数	146,274口	(前年度	152,985口	△6,711口)
・1人当り平均口数	23.9口	(前年度	23.9口	0口)

#### 2. 掛金の受入れ

令和5年度の受入掛金は1,707,974千円となり、前年度に比べ46,491千円減少した。この要因は、加入者数が280人減少、総口数が減少したことによる。

掛金の受入れ状況と前年度との増減対比は、次表のとおりである。

会員区分	加入者数 (人)	総口数	1人当り 平均口数	掛金額 (千円)	前年度との増減		
					加入者数	総口数	掛金額 (千円)
J A	5,254	129,132	24.6	1,507,666	△244	△5,978	△42,130
連合会	510	9,969	19.5	118,662	△25	△363	△3,381
専門農協・ 子会社等	368	7,173	19.5	81,646	△11	△370	△980
計	6,132	146,274	23.9	1,707,974	△280	△6,711	△46,491

※加入者数、総口数は令和5年10月現在のものである。

※掛金額は、令和5年度1年間のものであり掛金戻し控除前のものである。

### 3. 退職給付金の支給

退職給付金は、退職者453人に対して2,185,577千円を支給した。前年度と比べ、退職者数は92人増加し、支給退職給付金は502,460千円増加した。(前年比129.9%) また、1人当りの平均支給額は、前年度の4,662千円から162千円増加し、4,824千円となった。(前年比103.5%)

退職給付金の支給状況および前年度との増減対比は、次表のとおりである。

会員区分	定年		早期		中途		退職者 合計	退職給付金額 (千円)	前年度との増減	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子			退職者	退職給付金 (千円)
J A	78	17	4	2	153	138	392	1,927,630	+97	+516,004
連合会	14	4	0	0	10	5	33	163,980	+1	△3,023
専門農協・ 子会社等	9	2	0	0	14	3	28	93,966	△6	△10,512
合計	101	23	4	2	177	146	453	2,185,577	+92	+502,460

### 4. 諸会議の開催

#### (1) 評議員会

##### ① 定時評議員会

6月30日(金) 午後3時より 於:県農業会館5階第11会議室  
 第1号議案 令和4年度事業報告及び財務諸表の承認について  
 第2号議案 評議員、理事及び監事の選任について  
 2議案とも原案どおり承認された。

## ② 臨時評議員会

3月11日(月) 12時50分より 於:県農業会館5階第11会議室  
第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算書の承認について  
原案どおり承認された。

## (2) 理事会

### ① 第1回理事会

6月1日(木) 午前10時より 於:県農業会館5階第13会議室  
第1号議案 令和4年度事業報告及び財務諸表の承認について  
第2号議案 JA役員改選に伴う本会役員選任方法について  
第3号議案 議案説明会の開催について  
第4号議案 定時評議員会の開催について  
4議案ともに原案どおり承認された。

### ② 第2回理事会

7月3日(月) 午後3時より 於:県農業会館5階第12会議室  
第1号議案 理事長及び常務理事の選定について  
原案どおり承認された。

### ③ 第3回理事会

3月1日(金) 午前10時より 於:県農業会館5階第12会議室  
第1号議案 令和6年度共済会の還元利率について  
第2号議案 臨時評議委員会の招集および付議議案について  
2議案とも原案どおり承認された。

## 5. 監査の実施

### (1) 会計監査人による監査

5月22日(月) 令和4年度事業報告及び財務諸表について、杉山明喜雄公認会計士の書面による会計監査を受けた。監査の結果、適正である旨の意見表明がされた。

### (2) 監事による監査

監事監査が次のとおり実施された。その結果、指摘改善事項はなかった。

- ① 5月29日(月) 令和4年度下半期の事業並びに会計監査
- ② 11月8日(水) 令和5年度上半期の事業並びに会計監査

## 6. 資金運用と退職給付金の還元利率

資金運用は、県信連の定期性預金と全共連の退職年金共済の二本立てで行い、全体運用資金は約284億円(平残)であった。全体運用利回りは、0.636%となった(前年度比+0.01ポイント)。全体の運用益は180百万円となった(前年度

比±0円)。

一方、退職給付金の還元利率は、前年度と同様 0.500%で実施し、還元利息として 132 百万円を付加した（前年度比△2 百万円）。

### (1) 県信連定期性預金と借入金

退職給付金の支払資金として月 2 回の支払日が満期日となるように 26 本の譲渡性預金(期間 1 年、1 億円以上)を作成運用し、年度末の残高は 17,167 百万円と、前年度より 451 百万円の減となった。利率は、定期書替後が上乗せ金利 0.25%を含めた 0.252%であり、預金利息は 44 百万円、預金利回りは 0.252%となった。

予想を超えた退職給付金の支払いに備え、信連と借入限度枠 2 億円の特別当座勘定貸越約定を継続して締結しているが、5 年度の借入れはない。

### (2) 全共連退職年金共済

退職年金共済運用は、令和 5 年 10 月で 11 年目となり、111 億円が積み立てられた。令和 5 年度の運用益は 153 百万円(割戻金 18 百万円を含む)であり、これから共済付加掛金(運用手数料相当)19 百万円を控除した実質運用益は 137 百万円、実質運用年利回りは 1.241%であった。

## 7. 掛金増口指導

地区の総務部課長会議に出向き、共済会の現況と活用の利点を説明し、増口の働きかけをした。特に掛金が全額法人税の損金になることから、法人税の節税対策として増口を指導した。

加入者全体の 1 人当たり平均口数は 23.9 口、9JA の 職員の平均口数は 24.7 口（年間掛金@286.7 千円）で前年度比 4.9 千円であり、加入最高限度口数(30 口)からみると、高い水準にある。

## 8. 不祥事防止対策事業への助成

退職給付金の不支給をもたらす不祥事を防止し、加入職員の身分安定をはかるため、次の助成を実施した。

- ・ 令和 5 年度 J A 中央会の不祥事防止対策・コンプライアンス経営確立指導事業への助成 1,000,000 円

## 9. 管理資料の提供

加入団体の事業計画、決算、仮決算に必要な資料および退職金管理資料を作成し配付した。

- ①退職給付金個人別一覧表
- ②退職者一覧表
- ③退職金支給額一覧表（モデル団体のみ）

また、加入団体が掛金を納付するための「掛金告知書個人別一覧表」を作成

し配付した。

## 10. 事務指導の実施

### (1) 事務処理の指導

加入・退職・休職休業等に係る事務処理、掛金収納、退職給付金の支給、各種資料の活用方法等について随時指導した。

### (2) 共済会事務担当者研修会の開催

共済会事務担当者の研修会を、新任担当者を中心に次のとおり開催した。

- ・日 時 7月19日(水) 午後1時30分
- ・会 場 Web配信
- ・出席者 19人(15団体)
- ・研修の内容
  - ① 共済会事業の概要について
  - ② 共済会の事務手続きについて

## 11. インターネットによる情報公開

ホームページで情報公開している事業計画・収支予算書、事業報告・財務諸表等の事項の維持管理をした。

この「情報公開サイト」は、「静岡県のJAグループ」のトップページからリンクされている。

## 12. 関係団体との提携

全国および8府県の農協共済会により構成する全国農業協同組合役職員共済事業協議会主催の会議は、年3回(7月、8月、12月)開催されたほか、職員研修会が11月に開催され、担当者が出席した。

## II. 令和5年度事業報告附属明細書

該当ありません。

## III. 令和5年度財務諸表

次ページから。